

西学園だより

雲南市立認定こども園西こども園
雲南市立西小学校

【文責 表面 梅木 裏面 小田】

修学旅行（津和野・益田・浜田方面）10/26（水）～27（木）

修学旅行（津和野、益田、浜田方面）を実施しました。初日は、津和野で太鼓谷稲荷神社参拝。益田で「益田系繰り人形」（島根県無形民俗文化財）の見学・体験、ホテルで石見神楽の鑑賞。二日目は、金城ウエスタンライディングパークで乗馬、エサやり体験、その後、しまね海洋館アクアスの見学と、初日は島根県の伝統文化を直接体験し、二日目は生き物とふれあう旅でした。

その中で驚かされたのは、益田系繰り人形のスタッフの中に同じ6年生の児童がいたことです。大人のスタッフに交じって、演奏をしたり、段取りをしたりと、スタッフの一員としての動きは見事でした。さらに、石見神楽では、「恵比寿」と「大蛇」の二つを鑑賞しましたが、恵比寿さんを演じていたのが4年生の児童で、囃子には3年生の児童が入っていました。その演技や演奏にも驚かされましたが、最後の片付けまで大人に交じって手際よくやっている姿にも感心させられました。後でスタッフの人に聞くと、神楽団の中では大人も子供も関係なく接しているということでした。地域の伝統芸能に小学生の頃から関わることもですが、責任を持って取り組むその姿が心に残りました。

また、児童は、見学先・宿泊先でのマナーをはじめ、大人との関わり方など、社会や集団の中で、自分はどのようにふるまえばよいのか、相手とどのように接すればよいのか、普段以上に相手を意識して行動しました。「可愛い子には旅をさせよ」とよく言われますが、学校や家庭から離れることで多くのことを学んだ二日間となりました。



乗馬の後の餌やり



操り人形体験

「いきいき発表会」 11/11（金）、12（土）

「いきいき発表会」を児童向け（11日）、保護者向け（12日）の2日間に分けて実施しました。各学年ともこれまで学習してきたことをもとに様々な表現方法で工夫した発表ができました。開催にあたり保護者のみなさまには様々な面でご理解ご協力をいただきました。ありがとうございました。

私は、リハーサルを含め発表を3回見ることができ、その中でいろいろなことに気づかされました。一つ目は、相手意識を持った発表力をつけること。児童は見るたびに表現力をつけ、声の大きさ、話す速さや抑揚など、観る人、聞く人を意識して発表できるようになりました。今後も、学校での学習や生活の場面において、相手がどのように受け止めるか、相手の立場を意識して発表したり、話したりできるよう指導していきたいと考えます。

次に、主体性をつけることです。以前は、6年生が発表の準備等の役を担っていましたが、昨年度から各学年で行うことに変えました。学年が上がるにつれて、自分たちの発表を自らの手で作り上げていく姿が強く印象に残りました。今後も、児童ができることは児童に任せる場面を意識して設定し、児童の主体性を培いたいと考えました。



5年生「ほんとうの宝物は」

～にこわくすく八百屋さん～

いきいき発表会にあわせて特別支援学級の児童が育てた野菜を販売しました。多くのお客さんとふれあうことができ、子どもたちも大喜びでした。野菜は、春殖地区文化祭の野菜の品評会にも出品し、大根の部で最優秀賞を受賞しました。毎日、水やり、草ぬきや観察を欠かさず行っていた児童に大きな拍手です！

